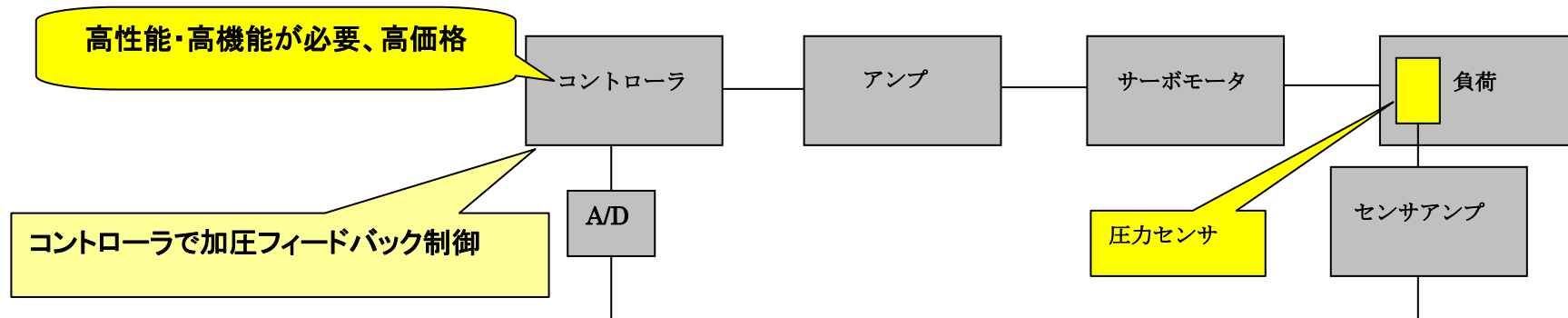
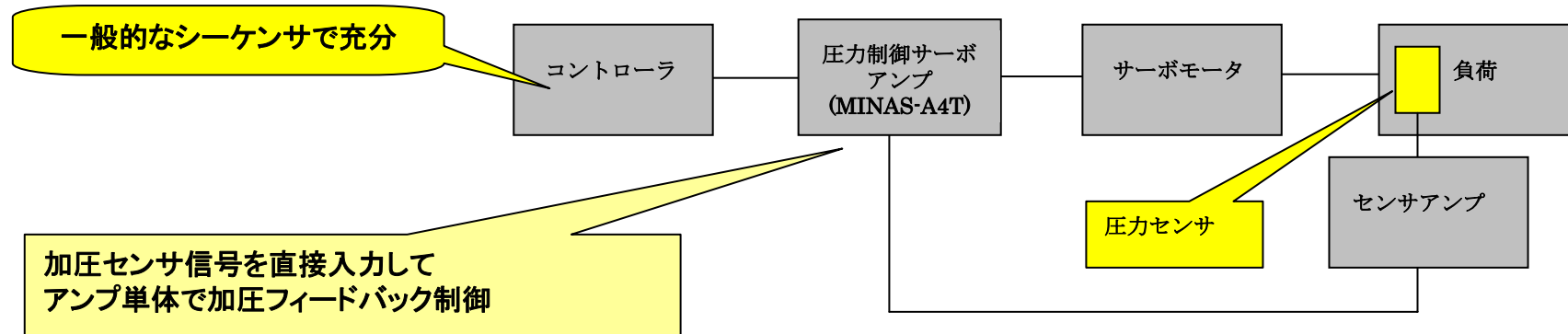


1. MINAS－A4Tの特徴

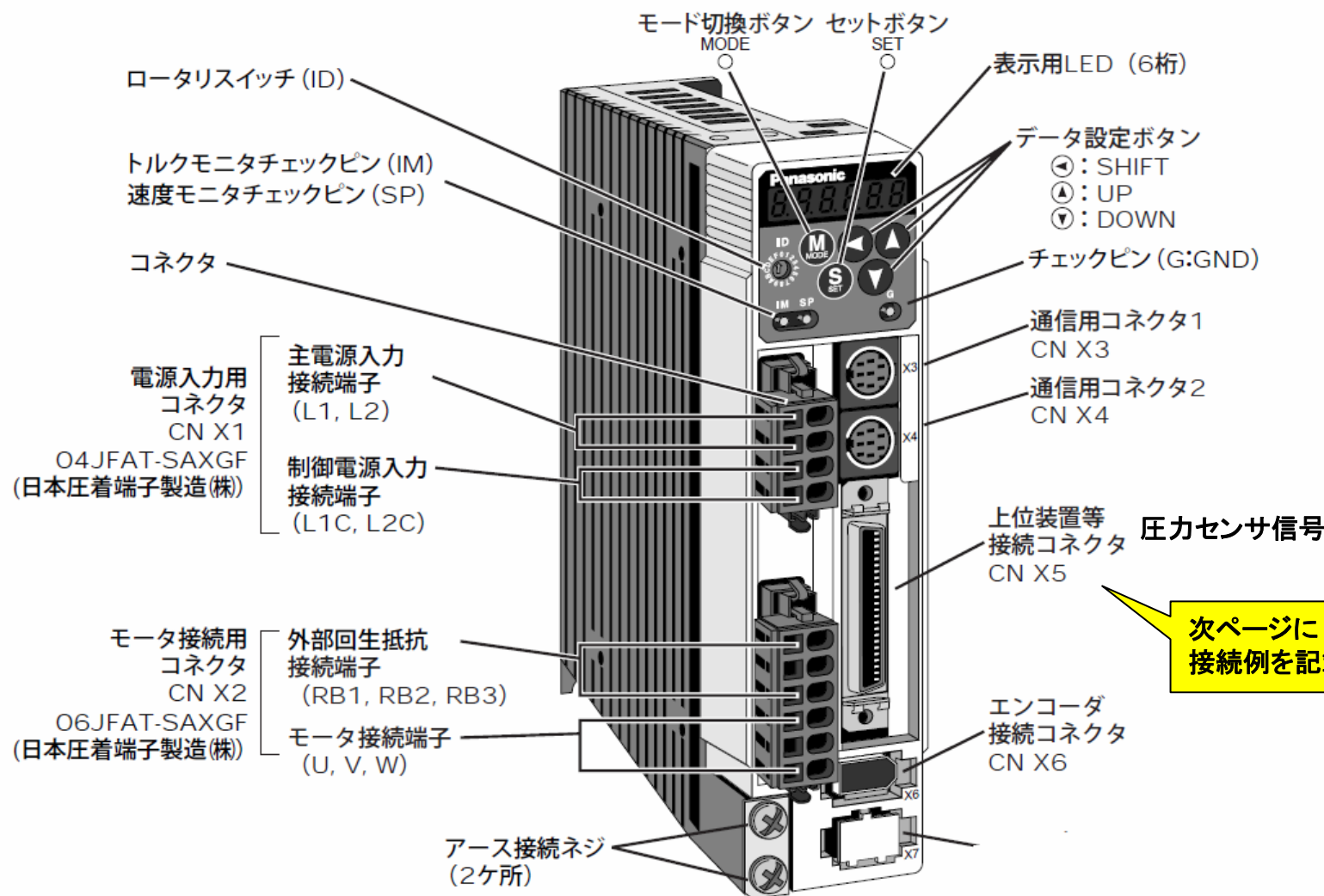
一般的なサーボ加圧制御の構成



MINAS－A4Tを使用したサーボ加圧制御の構成

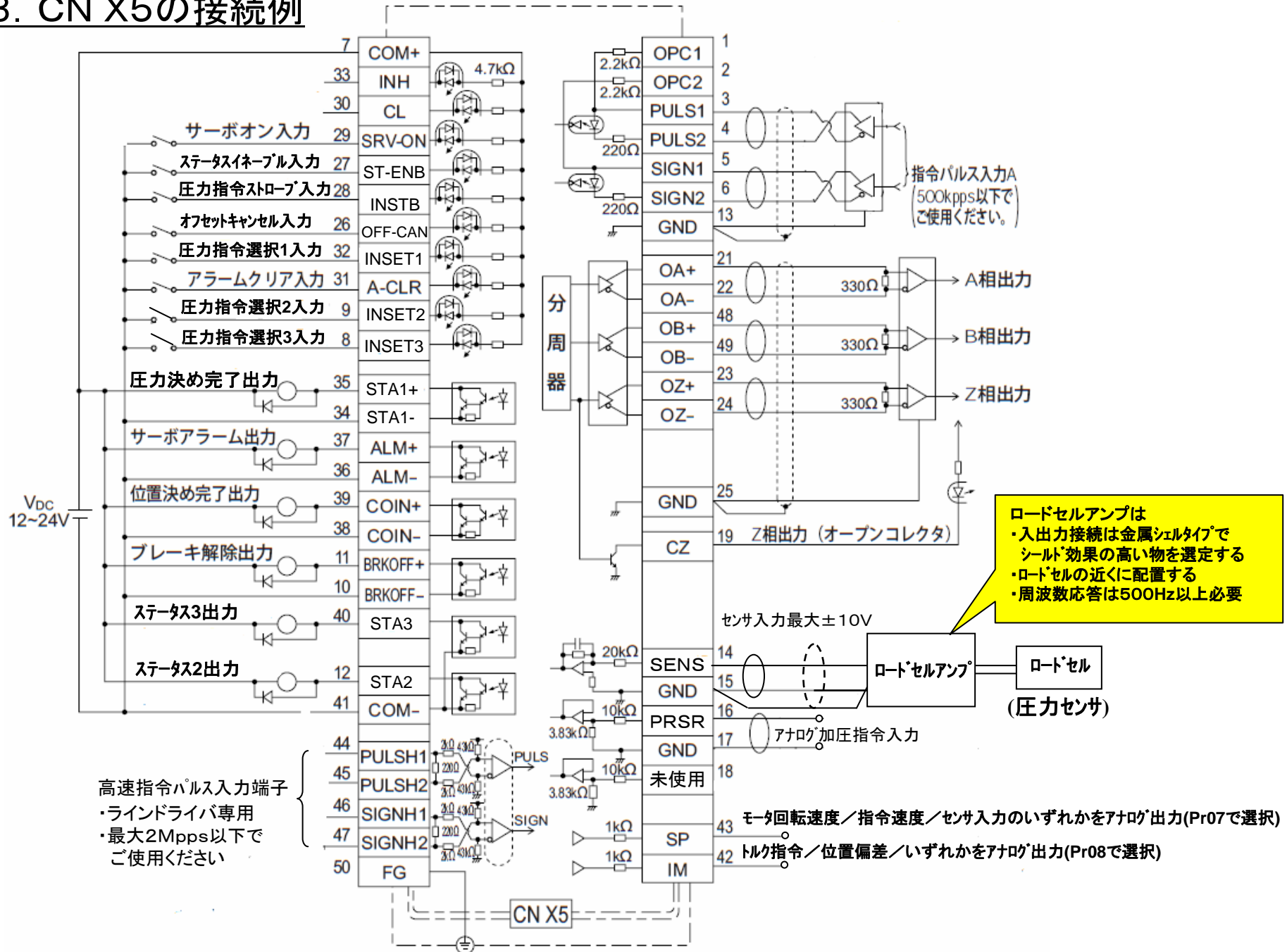


2. MINAS-A4Tの外形・構造



例：MADDT1207T

3. CN X5の接続例



4. 高性能確保のために

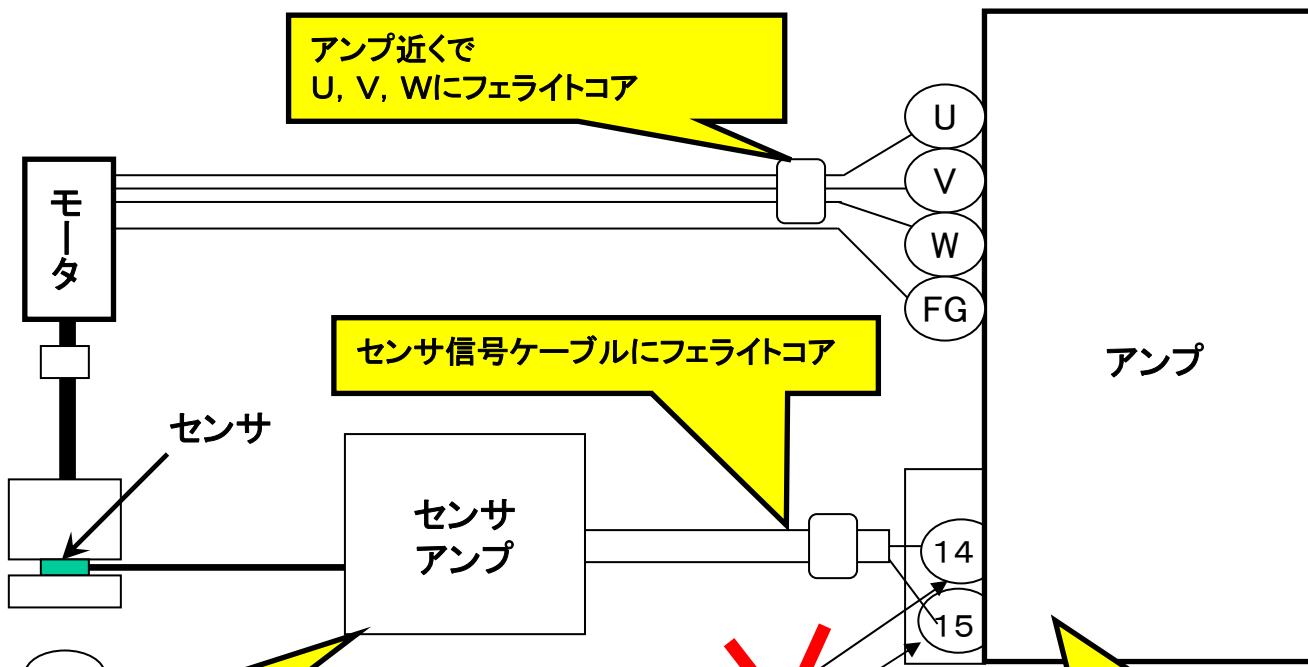
その1. センサ信号への重畳ノイズの低減対策の実施

特に重要です

各ユニット間のアース電位を同一にするためにアンプ、モータ、センサアンプ、センサは全体を一箇所にコンパクトにレイアウトして、同一の金属部位にとりつける。

アンプ近くで
U, V, Wにフェライトコア

センサ信号ケーブルにフェライトコア



入出力部位は誘導ノイズ防止のためシールドが施されていること。
センサがロードセルの場合は応答周波数500HZ以上必要。
応答周波数が低いと加圧応答性能が極端に悪化します。

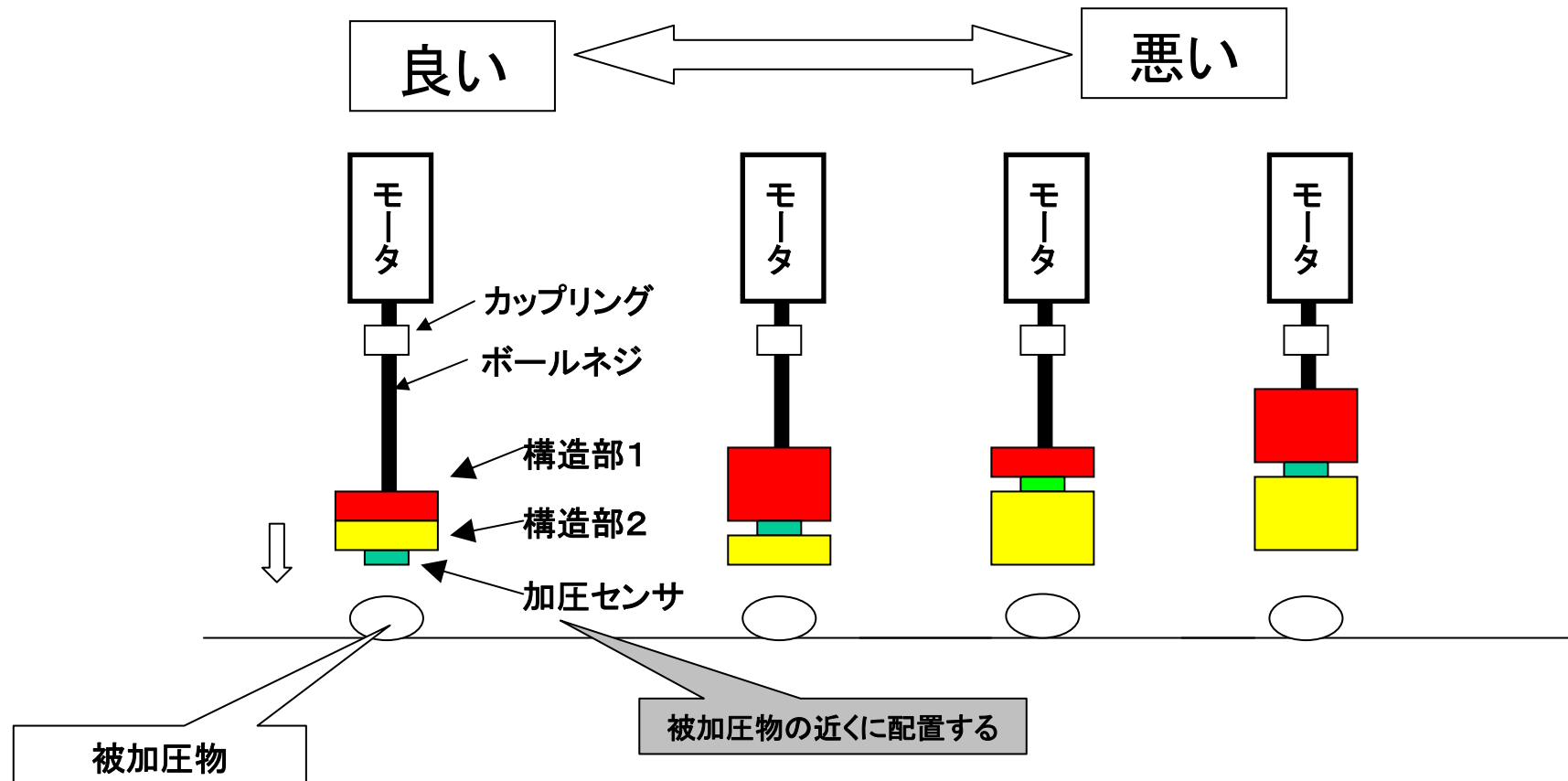
計測器、他

誘導ノイズ防止のためセンサ信号ケーブルに計測器、他を並列に接続しない

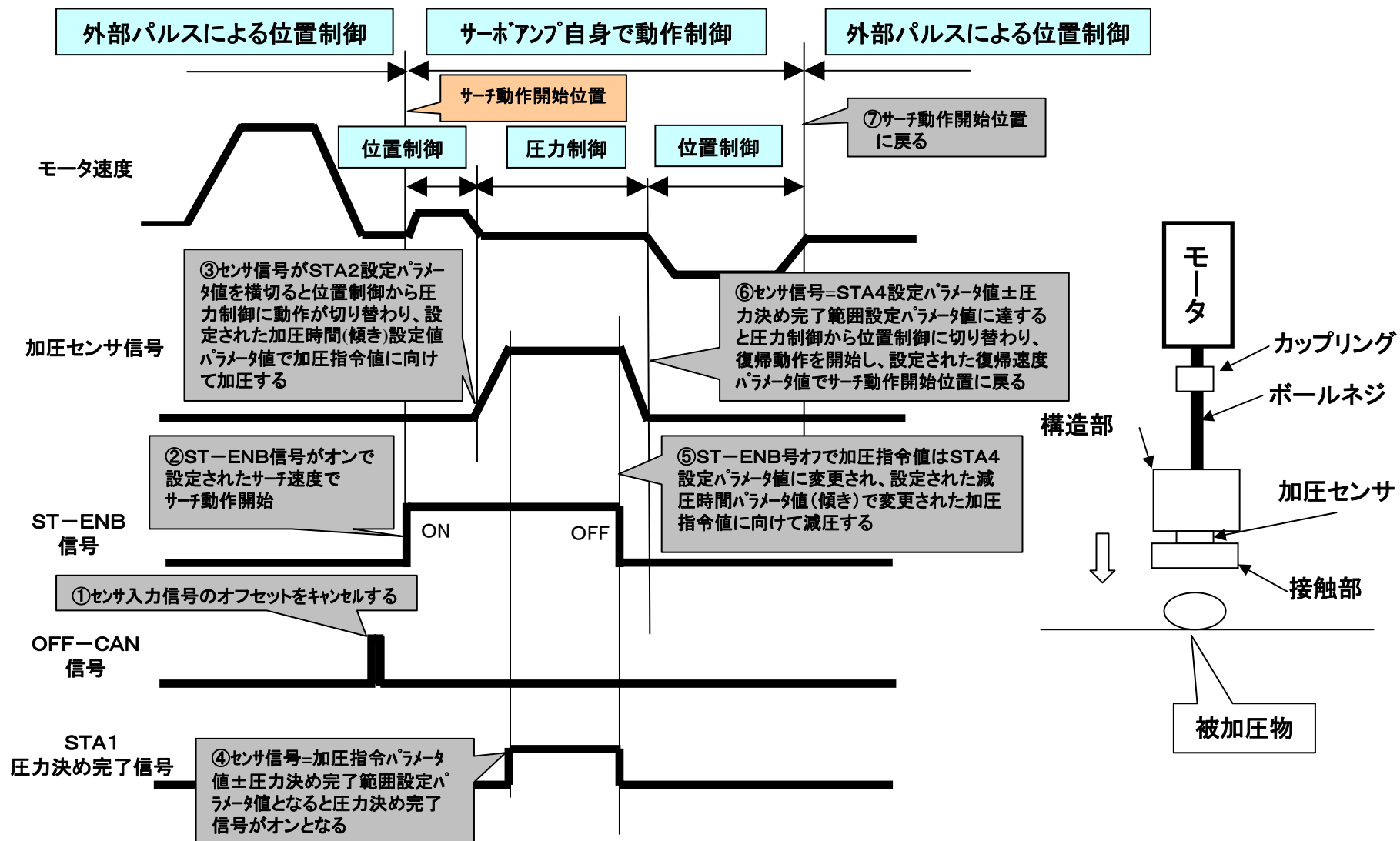
センサ信号は最短でアンプのI/Fコネクタの⑭(SIGIN), ⑮(GND)に直接接続する。
(中継端子台使用不可)

4. 高性能確保のために

その2. 可動部の軽量化を徹底！



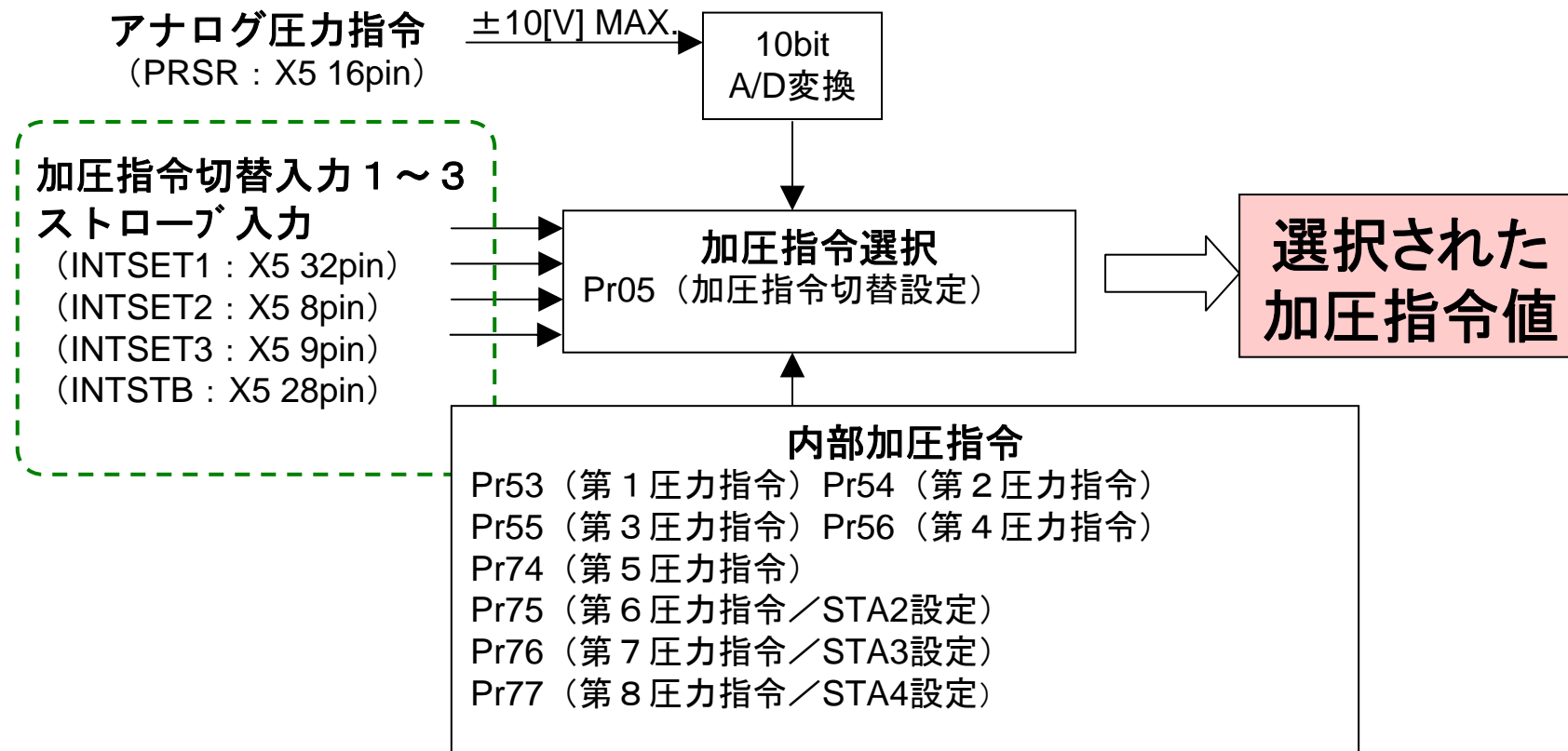
5. 代表的な加圧動作シーケンス(圧力フルクローズ制御時)



6.加圧指令値の選択・切替え

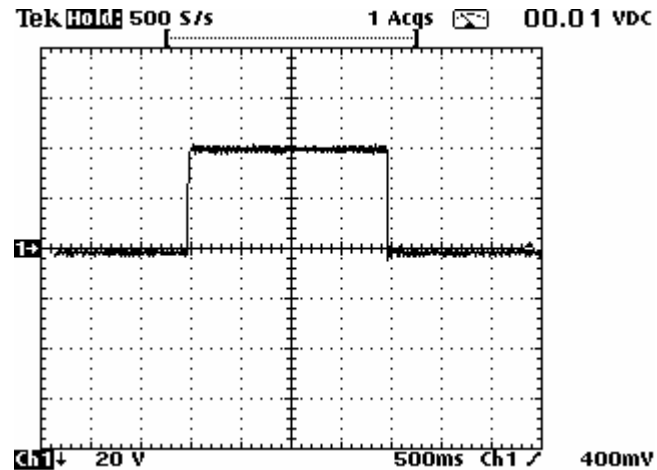
最大8種類のパラメータ設定された圧力指令とアナログ指令を選択

- ・3ビットの選択入力端子+ストローブ入力端子を装備
- ・加圧指令を3ビット選択入力端子から選択後、ストローブ入力端子よりのON-OFFにて選択した加圧指令値が有効となる

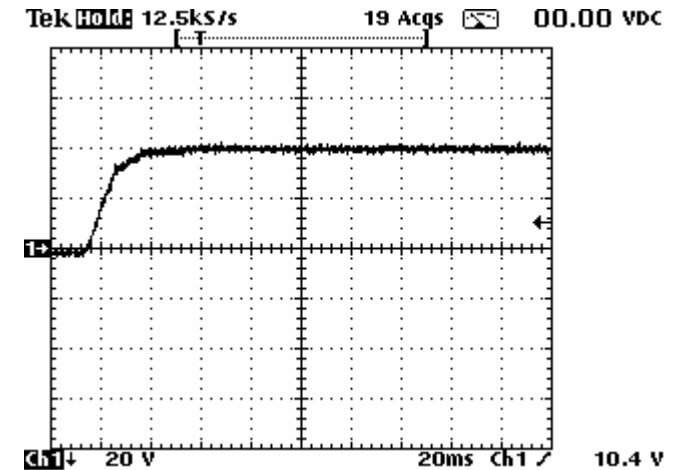


〔参考〕MINAS－A4Tによる加圧動作例（MINAS－A4Tのモニタ端子出力）

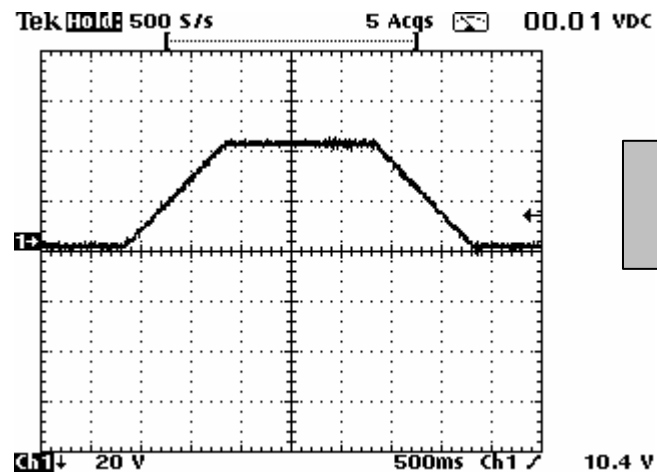
500gf加圧ステップ加圧



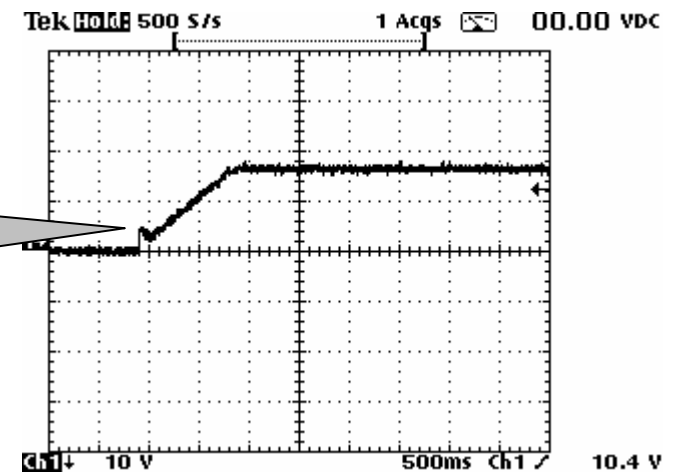
500gf加圧ステップ加圧(時間軸拡大)



500gfランプ加圧



50gfランプ加圧



10gfの加圧
オーバーシュート